第 12 回（令和 5 年度第 5 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　　吉岡自治会連合会
　　代表者　　会長　堀喜久男

２　開催日等
（１）開催日　令和 6 年 1 月 28 日（日）
（２）会　場　吉岡公民館
（３）テーマ　公共施設の統廃合について

３　意見交換の概要
※　[　　] 内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　吉岡地区では、これまで公共施設の統廃合問題について説明されたことがなかったかと思います。そのため、噂話が先行している状況です。吉岡地区の今後について市の考え方を伺います。

市長　今、一番の課題は「人口減少問題」です。私の政策理念である「新熊谷プライドの創造」のもと、様々な取組によりまちを変えて人を呼び込むことにより、統廃合を少しでも先に遅らせたいと考えています。吉岡地区においても、吉岡工業団地の拡張に向けた本格的な調査を進めていますが、将来的に人口が増えて子供の数が増えれば、学校の統廃合も先に行くと考えています。

公民館については、大きな公民館を 7 館つくるという計画が皆さんの耳に入り既存の公民館は廃止になると思われているかもしれませんが、今ある公民館の近くに新たに約 60 坪の地域会館をつくる計画です。

また、南部地区に生涯活動センターや消防署の建設を検討していますが、まだ場所については要検討ということです。方向が決まればご説明させていただきます。

（教育総務課） 小学校統廃合の検討基準は次のとおりとなっています。
・複式学級の編制が見込まれる場合は、直ちに学校統廃合等の適否について検討する。
・全学年で単学級となることが見込まれる場合は、児童数の動向に注視しつつ、学校統廃合等の適否について検討する。

吉岡小学校及び統合対象の市田小学校は、令和11年度までに複式学級の編成は見込まれていませんが、市田小学校は現時点ですでに全学年が単学級となっていますので、今後の児童数の動向を踏まえた判断が必要になります。

（中央公民館） 地域会館は、吉岡公民館の跡地も含めた近隣で整備する（建て替える）ことを計画しています。

（政策調査課） 公共施設マネジメントの取組については市政宅配講座をご利用いただけます。

市民　一昨年 7 月に突然熊谷ハイタウンの南側の調整区域に鉄の囲いがひと回りできました。地目が雑種地のため、農業委員会の関与がありませんでした。周りに家がたくさんあるので火事や不審物の流出等、環境に悪影響を与えるのではないかと心配しました。幸い市の開発審査課が積極的に相談に乗ってくれて、業者と自治会で話し合って覚書を結び、今のところ苦情等は出ていません。

農業委員会の関与がない雑種地でも、環境や安全の面で悪影響が出ることもありますので、対策等についてどう考えているかお聞きしたいと思います。

市長　雑種地の資材置き場について市役所では設置を規制できませんが、市内にある「ヤード」は都市計画法の違反箇所の指導を行っています。

農地に関しては昨年４月に農地の取得等の面積要件が緩和されたことから、違法な農地転用の増加を心配されていると思いますが、他の要件はこれまでどおりで変更されていませんので安心していただきたいと思います。

（環境推進課） ヤードの立入検査に同行し、内部に放置された事業系一般廃棄物について適正排出を指導しています。

なお、同立入検査には埼玉県北部環境管理事務所も同行しており、産業廃棄物が発見された場合は、埼玉県による指導を行っています。

市民　小川県道の万吉橋交差点から万吉横断歩道橋の交差点の間は、曲がりくねって大変見通しが悪く、車が頻繁にガードレールにぶつかります。また生活道路になっており、高齢者や子供たちが横断しますので、大きな交通事故が起こる前に何らかの対策を講じていただきたい。熊谷県土整備事務所でもいくつか交通標識を立ててくれましたが、それだけでは不安ですので、市から県に対策を考えるよう言って欲しいと思います。

市長　旧有料道路から緩やかなカーブなので、右折ウインカーを出したままで交差点に入ってくると、江南側から来る人は前から来る車が右折すると思いますから事故が起こることもありますね。今後、県土整備事務所や警察と検討しながら、標識その他もお願いしたいと思います。

市民　南部地区は荒川や吉野川、江南断層など大規模災害の危険性があります。できれば、南部に防災訓練や防災備蓄、災害時の窓口や司令塔となり地域管理の担当を持つセンターを造っていただけないかと思います。

市長　防災関連として、今消防署が分散しており、規模が小さくなっています。これを拠点性のある施設につくり変え、皆様方にとって災害に対する安心に繋げていきます。

（危機管理課） 南部地区については、大里行政センター、江南行政センターを災害時における現地災害対策本部として位置づけ、本庁舎（災害対策本部）との連携や地域の被災状況の把握、住民との連絡窓口機能の他、食料・毛布・簡易トイレ等の備蓄品を配置しています。

市民　吉岡地区も空き家が増えてきました。通学路に、3 メートルぐらいのコンクリート塀に囲まれた空き家があるのですが、所有者がわからず、対応のしようがないということです。その塀が歪み、中が覗けるぐらいの大きな亀裂があって、今にも崩れそうで危険な状態です。自治会と役所と所有者が連携して解決していく対応をお願いしたいと思います。

次に、吉岡地区は里山が多く自然が豊かですが、所有者の管理が行き届かず、特に竹林がどんどん増えて、背丈も高くなり、周りの畑に光が届かない状態が生じています。管理された竹林は、爽やかな風を受けて自然の美しさを実感できるいい場所になると思うのですが、一つの提案として、竹林を利用して炭を作ったらどうかと思います。木炭は燃料や脱臭剤になりますし、竹をその場で粉砕加工して、犬猫用のペレットを作っているところもあるようです。また、伐採した木は、シイタケ栽培などに利用できると思います。

最後に、昨年 2 月頃に楊井沼の南の雑木林が突然切り出され更地になり、周囲が囲われました。何の標識もないので、何をやっているかわかりません。今のところ廃棄物など埋められていないようですが、吉岡には、昔から廃棄されたままの雑木林があり、周りの人たちはピリピリしています。それに夜中 3 時から 6 時頃、ダンプが出入りしたり作業したりしています。昼間行ってもほとんど会えません。こういう作業は標識なしにできるのでしょうか。何をしているのかわかれば、周りの人たちも非常に安心すると思います。私達が気づいたことはどんどん相談していきますが、廃棄物対策の現状について教えていただきたいと思います。

市長　空き家の件は、関係者を調べて連絡を取り、適正な管理をお願いしたいと思います。特定空家や管理不全空家として指導に従わないと、固定資産税等の住宅用地特例が受けられず税額が数倍になることもあります。

里山については、江南の塩地区でも残土置き場が問題になっています。問題が起きそうな地域は事前にしっかりと見守りをする必要があると思っています。この楊井地区についても、そういった監視活動はしたいと思います。基本的に許されるのは残土ぐらいだと思います。それ以外は自分の土地であっても不法投棄になってしまいます。

ご心配の事業者については、環境部と確認をさせていただきながら、中身についても立ち入って見られるような取組をしたいと思います。今後新しいゴミの山ができないよう注意を払うのが市の役目だと思っています。

（環境推進課） 吉岡地域には埼玉県が認定する産業廃棄物の山が 3 カ所あり、環境推進課では定期的に監視パトロールを行っています。今後は、産業廃棄物の山のパトロールと同時に不法投棄調査及び監視活動の実施を検討します。

熊谷市では面積が 500 ㎡以上 3,000 ㎡未満の土砂等の堆積について許可制としており、3,000 ㎡以上の堆積は埼玉県が許可することになっています。

楊井沼南側の伐採地は、面積が 6,000 ㎡を超える広い場所であるため、埼玉県北部環境管理事務所に現場確認と業者への聞取りを行うように要請しています。

環境推進課では本地周辺のパトロールを継続するとともに、現場状況に注視し必要に応じて指導を行ってまいります。

市民　楊井地区では、雑木林の中に太陽光パネルを建設するケースが目につきます。管理面や景観を不安がる住民も少なくありません。開発と自然保護の点から、市としての対策を教えてください。

市長　昨年、熊谷市では、ゼロカーボンシティ宣言をしました。木を切って太陽光パネルを設置するのは自然環境を破壊することにもなります。規制することは難しいので、設置する場合は地域住民への説明会の開催を義務づけました。

太陽光を使ってＣＯ2 排出ゼロを目指すよりも、太陽光ではない形でゼロカーボンを目指そうという考えも持っています。

市民　熊谷ハイタウンは一大住宅地で住宅が密集しており、特に火災等が心配されます。市内には住宅密集地が他にもありますが、実際、自治会防災会ではどの様な活動をしているのでしょうか。

市長　他地区での防災活動も、防災訓練や、炊き出しなど大きくは変わらないと思います。中には黄色いタオルを自治会で作って、有事の際に、タオルを玄関に出して無事を知らせる目的で配っているところもあります。

また、市では防災士の資格取得に対して 3 万円を上限に補助しています。自治会における災害時のリーダー作りを支援しています。

また、地区防災計画策定に対する補助も行っています。校区単位で 40 万円、単体自主防災会では 5 万円となっています。

（危機管理課） 自主防災会で行う防災訓練等の活動内容（初期消火訓練等）については、危機管理課にご相談ください。

市民　吉岡地区は南北の道はバス路線も充実していますが、東西の道がありません。吉岡小学校の南の道路は、3 分の 1 程度は歩道が整備されておらず、朝

タは国道 407 号線との交差点の信号待ちの車がだいぶ繋がり、自転車や歩行者の通行が危険な状況です。歩道がないので通学路ではありませんが、信号待ちを迂回する車がスピードを出して通学路を通りますので危ないし、道路もだいぶ傷んでいます。

5 年前に関係地主の同意をもらい、市に歩道整備の要望書を出していますが、なかなか実現しません。ぜひよろしくお願いします。吉岡にとっても、この東西線が整備されると便利で安心安全になると思います。

市長　これについては令和 2 年に要望をいただいていますが、令和 6 年度には国道 407 号線までの歩道部分についても整備を始める予定です。

吉岡地区は東西に抜ける道路がないということですが、消防車や救急車がストレスなく東西を行き来できるようインフラ整備を進めたいと思います。

市民　1 点目として、小学校の統廃合については児童数の関係もあるということのようですが、中学校についてはどうですか。

2 点目は、熊谷ハイタウンの自治会で汚水処理場を持っており、この修理を考えていますが、市として、荒川の南側での公共下水道について、先々実施されるのかどうか伺います。環境推進課に伺ったところ、今の人口減少の中では大変難しいという話でした。先ほど市長さんから、工業団地の拡張の話があり、人口増を狙いたいということでしたが、そういったことと考え合わせても、当分は無理なのでしょうか。

市長　中学校の統廃合についても生徒数で判断します。

下水処理については、熊谷ハイタウンの状況は承知していませんが、南部地区の公共下水については難しいです。

（教育総務課） 中学校の統廃合の検討基準は次のとおりとなっています。

・複式学級の編成が見込まれる場合は、直ちに学校統廃合等の適否について検討する。

・全学年で2学級以下となることが見込まれる場合は、生徒数の動向に注視しつつ、学校統廃合等の適否について検討する。

吉岡中学校及び統合対象の大里中学校は、令和11年度までに複式学級の編成は見込まれていませんが、現時点で2校とも全学年が2学級となっていますので、今後の生徒数の動向を踏まえた判断が必要になると思われます。

（下水道課）「熊谷市生活排水処理基本計画」では、公共下水道は「荒川左岸側において整備効果の高い人口密集地区である市街化区域の整備を進める」としており、荒川の南側における公共下水道の整備計画はありません。